

第Ⅱ章 地産地消に関する現状

1 農産物の生産状況と農家人口の推移

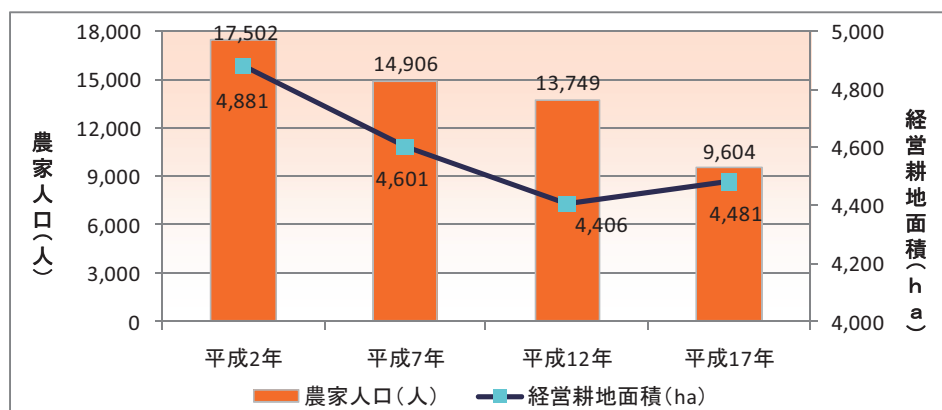
白山市では稲作を中心とした農業が営まれており、その他にも市全域でトマト、だいこん、きゅうり、ブロッコリーなどをはじめとする多くの農産物が生産されています。一方、生産体制では農家人口が年々減少傾向となっています。

■ 白山市における主な農産物の生産量推移（t） ■

作物名	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年
米	13,216	16,950	16,127	19,300	19,100
大豆	1,207	496	667	785	819
麦	42	79	29	71	74
そば	13	9	11	34	30
メロン	93	62	72	38	33
きゅうり	590	358	502	445	335
だいこん	594	408	534	451	385
かぼちゃ	11	11	8	8	6
トマト	1,018	714	1,008	914	894
にんじん	95	52	60	42	13
レタス	113	43	56	18	10
はくさい	194	285	504	57	50
キャベツ	188	245	396	390	73
ナス	29	30	60	79	27
ブロッコリー	111	114	183	272	282
ホウレンソウ	20	16	13	8	14
まるいも	46	25	11	8	11
日本なし	605	570	597	451	500

資料：白山市統計書

■ 白山市における農家人口と経営耕地面積の推移 ■



資料：農林業センサス

2 林産物の生産状況と林家数の推移

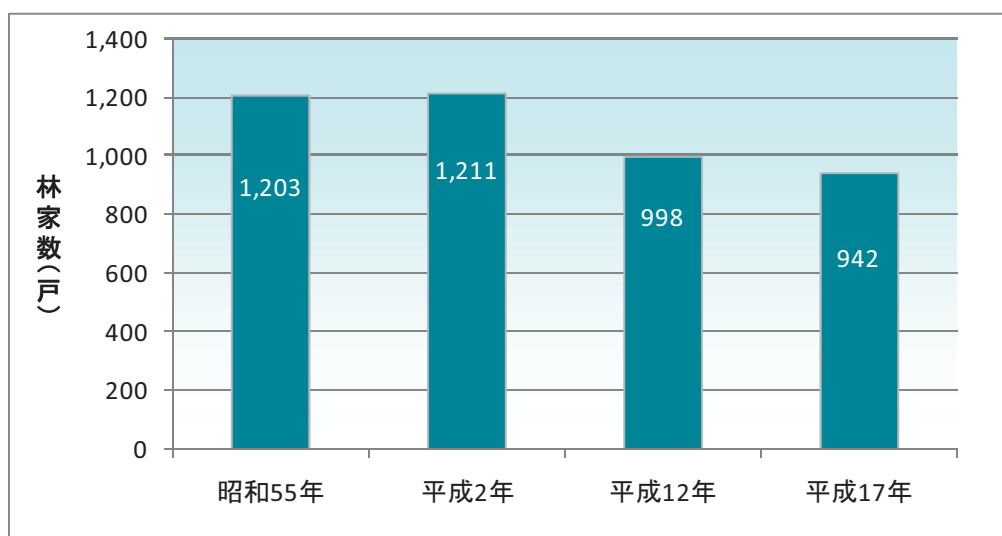
白山市では、キノコ類が主な林産物として生産されています。林家数は年々減少傾向となっています。

■ 白山市における林産物の生産量の推移（t） ■

	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年
生しいたけ	103.1	118.3	113.1	112.1	103.3
なめこ	56.8	57.6	51.1	56.7	52.6
えのきたけ	89.1	87.0	75.0	70.0	70.0
ひらたけ	14.3	14.0	5.0	5.4	5.1
まいたけ	22.1	22.1	22.1	22.0	22.0
たけのこ	8.0	8.0	8.0	25.0	8.5
その他	2.4	1.2	1.1	0.9	0.9

資料：石川県特用林産物需給動向

■ 白山市における林家数の推移 ■



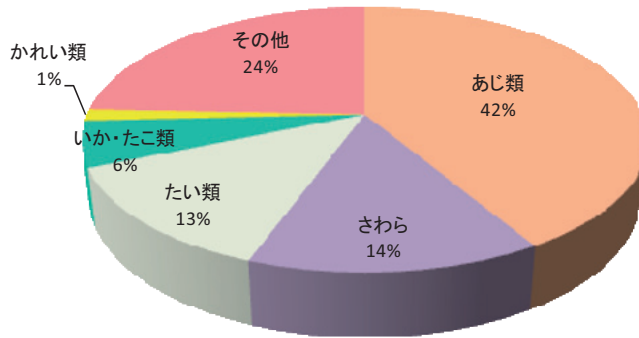
資料：農林業センサス
昭和 60 年、平成 7 年は林家数の調査はされていない

3 漁獲状況と稚魚放流数の推移

白山市の漁業の漁獲高は、美川漁港での水揚げが主であり、アジ・サワラ類が多く漁獲されています。

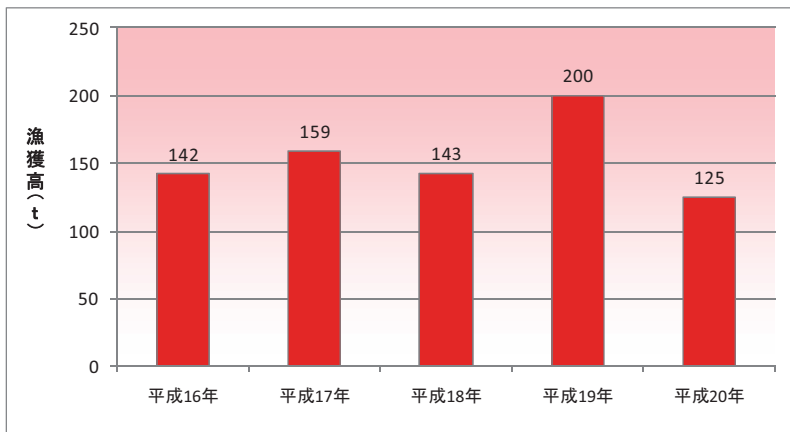
漁業経営体（漁業に従事する世帯または事業所）については、平成5年をピークに減少傾向に転じており、農業や林業と同様に経営体（担い手）が減少傾向となっています。

■ 魚種別漁獲量の割合（美川漁港） ■



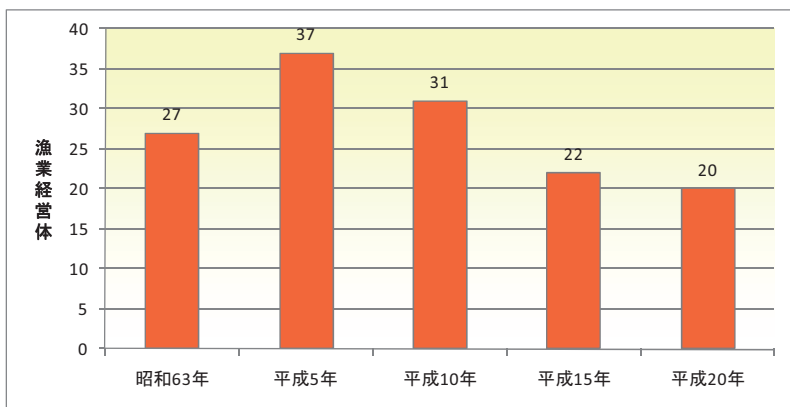
資料：港の港勢調査

■ 漁獲量の推移（美川漁港） ■



資料：港の港勢調査

■ 漁業経営体の推移（美川漁港） ■

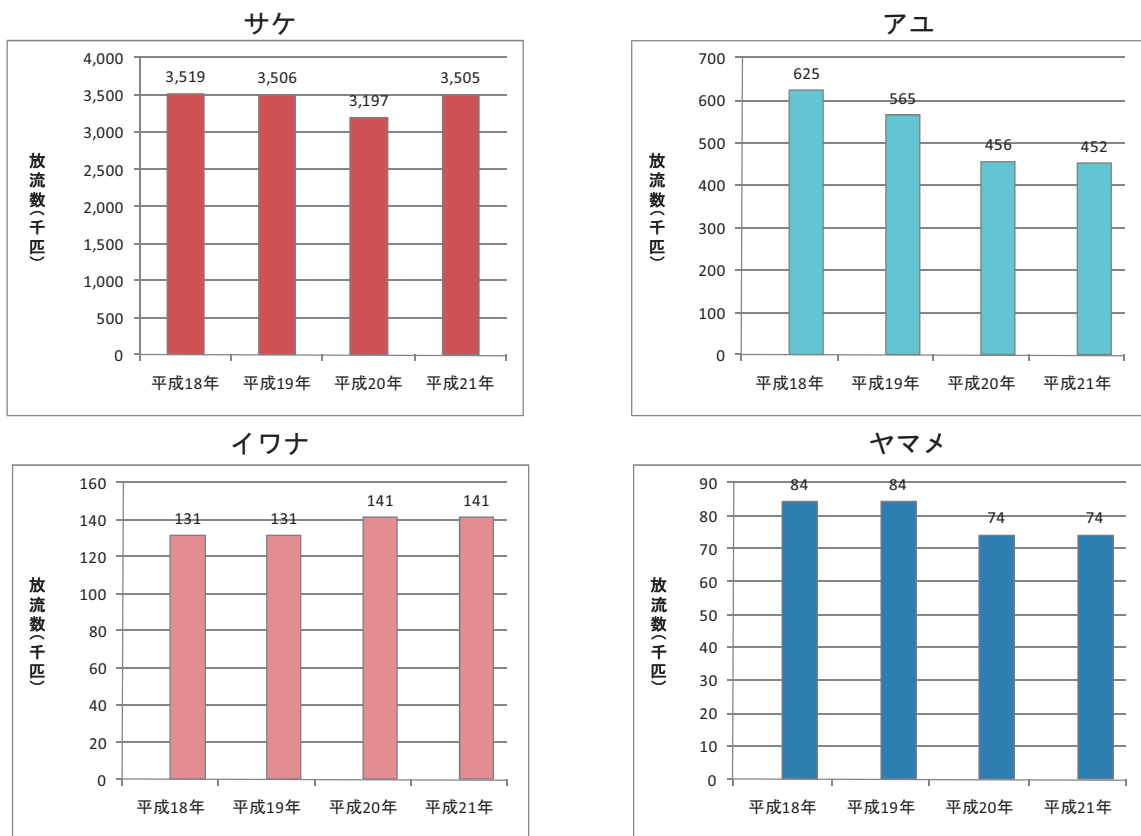


資料：漁業センサス

内水面漁業については、水産資源の確保および維持のため、また、生態系の保護や生物多様性の観点より、稚魚の放流事業などが継続的に実施されています。

さらに、放流事業は小中学生や幼稚園児の体験学習の場としても有効な役割を果たしており、食育活動にも大きくかかわる事業と言えます。

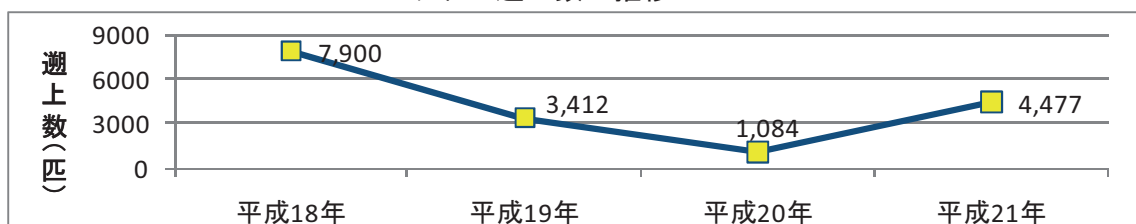
■ 内水面漁業における魚種別放流数の推移 ■



資料：林業水産課調べ

毎年の放流事業の中で、サケについては遡上数の調査が行われています。放流数に対する遡上数は極めて少ないものの、一定の遡上が確認されています。

■ サケの遡上数の推移 ■



資料：白山市統計書



サケの稚魚を放流する児童たち（美川地域）



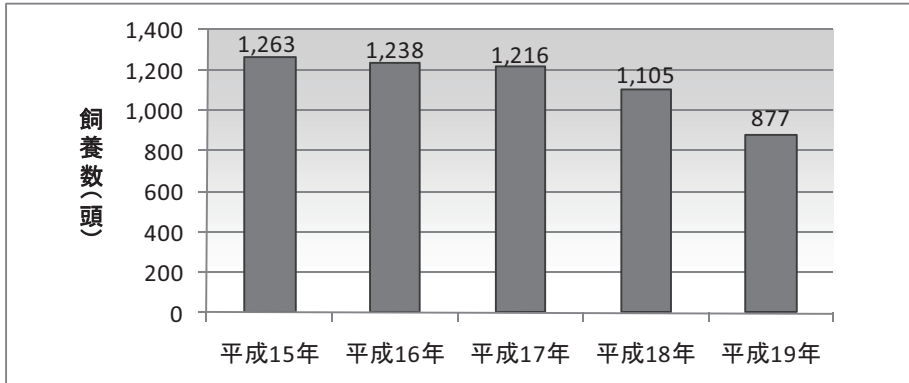
アユの稚魚を放流する児童たち（白山ろく地域）

4 畜産状況と畜産農家数の推移

白山市における主な畜産業は、「乳用牛」「採卵鶏」であり、畜産農家の中で最も多い割合を占めている「乳用牛」の畜産農家数が減少傾向となっています。また、「採卵鶏」の畜産農家数は平成16年度から増加傾向にあります。一方で、飼養数は「乳用牛」「採卵鶏」とともに減少傾向となっています。

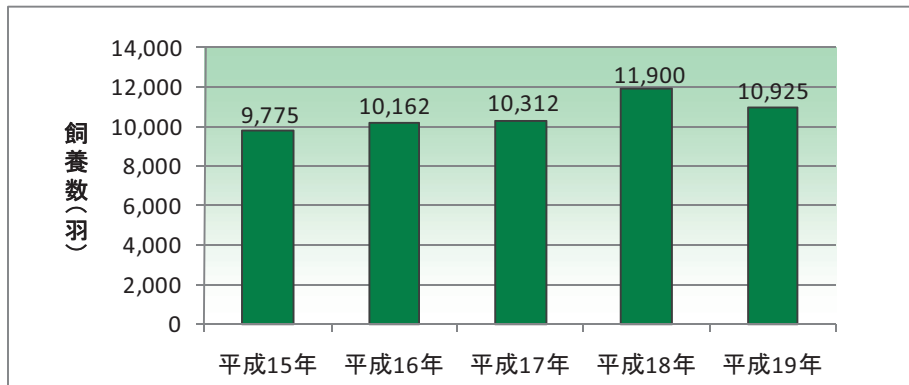
また、白山市内では、「肉用牛」の畜産に取り組む畜産農家も存在しています。

■ 乳用牛の飼養数の推移 ■



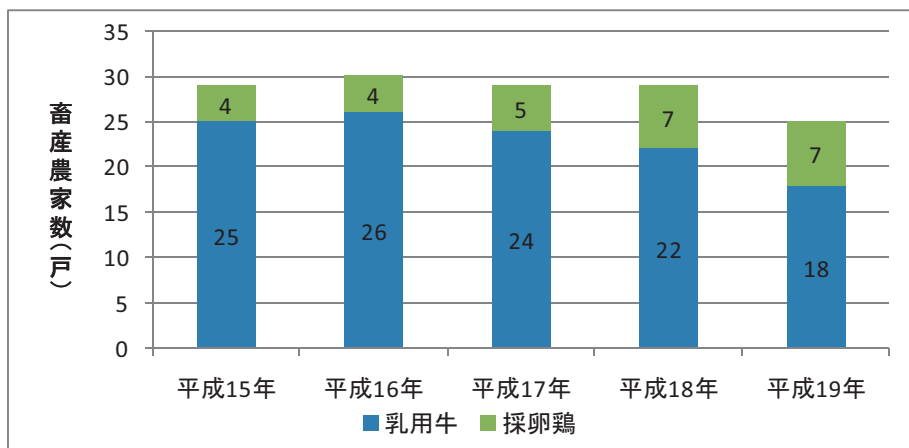
資料：白山市統計書

■ 採卵鶏の飼養数の推移 ■



資料：白山市統計書

■ 畜産農家数の推移 ■



資料：白山市統計書

5 市民意識調査の結果

地産地消推進計画を策定するにあたり、白山市では消費者・生産者・飲食店および食品関連事業者を対象に、地産地消に関するアンケート調査を実施しました。

また、地産地消に関連する団体を対象に、各団体の取り組みについてアンケート調査を実施しました。

アンケート調査では、地産地消に対する関心や取り組み意欲の高さがうかがえるとともに、促進に向けた取り組みなどの意見も寄せられました。

●消費者アンケート

- 購入食材の産地について、国内産が最重要視されており、県内産と白山市産についても、6割程度の方が「気にする」と回答しています。
- 直売所では鮮度だけでなく、価格に対しても比較的好印象が持たれている一方で、「価格や品質が同じなら地元産にこだわる必要がない」との意見も多く挙げられています。
- スーパーなどの量販店での取扱量を増やすとともに、価格や鮮度を広くPRしていく必要があります。

●生産者アンケート

- 生産者は地産地消への関心が高く、地産地消を活用した地域活性化を望んでいることがうかがえます。
- 今後においては、スーパーなどよりも直売所への出品・出荷を望む意見が多く出されています。
- 生産者は消費者の動向やニーズの把握を求めるとともに、新たな栽培技術、技術の改善を求めています。

●飲食店・食品関連事業者アンケート

- スーパーなどの量販店で取扱量を増やすことが求められていますが、一方で価格が重要視されています。

●関連団体へのアンケート

- 各団体で各種イベントの開催や集客事業の取り組み、食育研修会への参加などに取り組んでいます。
- 課題として、イベント開催場所の確保やイベント参加人数の確保、メディア（地元ケーブルテレビ、タウン誌、ホームページや市広報など）を活用した情報提供が望まれています。
- また、新たな加工品開発による質の高い特産品の確保、他団体や石川県、白山市と連携した事業活動と情報発信を求める意見も挙げられています。